

2022年度（令和4年度）

入学試験要項

社会人特別選考

◎試験当日は、この「入学試験要項」を必ず持参してください。

文学部
日本文学科
哲学科
神道文化学部
神道文化学科（フレックスA）

もっと日本を。もっと世界へ。



〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

総合企画部入学課

☎ 03-5466-0141

www.kokugakuin.ac.jp

新型コロナウイルスの影響によって、やむを得ず、入学試験実施（出願要件・試験日程・試験内容等）について変更する可能性があります。変更が生じた場合は、本学 Web サイトにて随時公表いたしますので、出願にあたっては、必ず本学 Web サイトにて最新情報をご確認ください。また、出願開始後に変更が生じた場合は、当該出願者に対し E メールまたは郵送にて通知いたします。

入試情報に関する変更は、こちら（本学 Web サイト）からご確認ください。



目 次

1. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）	1
2. 募集人員・出願資格等	3
3. 実施スケジュール	5
4. 受験から入学手続きまで	6
5. 入学試験要項	8
6. 出願書類・出願方法	9
7. 入学志願票記入例	10
8. 入学検定料	12
9. 学費等納付金	13
(1) 学費等納付金について	
(2) フレックスコースの学費等納付金について（神道文化学部）	

【出願にあたっての注意事項】

1. 出願資格・受付期間・試験科目等について、事前に熟読してください。
2. 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに必ず入学課（03-5466-0141）にご相談ください。

【提出書類の確認について】

調査書・証明書等については、記載内容の確認のため、大学から発行元の団体・機関等へ連絡をさせていただく場合があります。

【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程に従い、適切に管理します。

利用目的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知・入学手続きに関する諸連絡、入学予定者への各種案内書類の送付、本学学校法人の國學院大學北海道短期大学部の案内書類送付、出願・入学動向の分析
データ項目	(1) 入学志願票に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、生年月日、国籍、出身学校(高等学校等・大学・短期大学(学士入学・編入学のみ))および卒業(見込)年月、志願する入試制度・学科(専攻)、大学入学共通テスト試験成績請求No、日本留学試験受験番号、写真 (2) 調査書、高等学校卒業程度認定試験合格証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績(スコア)証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学習成績の状況、担任による評価、検定・試験の成績および受検年月日
保管期間	10年間

國學院大學における個人情報の利用目的については下記の URL を参照してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/p2>

1. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

※アドミッション・ポリシー（以下、「AP」）については、本学ホームページでもご確認ください。

文学部

【日本文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- ・自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- ・日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。
- (AP2) 自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。
- (AP3) 日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表の通りです。

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「古典A」「古典B」「現代文A」「現代文B」およびそれに相当する教科を履修していることが望まれます。

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書			◎	筆記試験で大学での学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
筆記試験	◎	◎		
面接試験	○		○	

【哲学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- ・哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- ・文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。
- (AP2) 自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。
- (AP3) 哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表の通りです。

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「国語総合（現代文）」「コミュニケーション英語I、II、III」「英語表現I、II」を身につけ、さらに「倫理」「現代社会」「政治経済」「世界史B」「日本史B」「美術I」「音楽I」「地理A」「地理B」「数学I」「数学II」「数学A」およびそれに相当する教科を一つ以上履修していることが望まれます。

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		○	◎	哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
自己推薦書		○	◎	
レポート	○	◎	○	
小論文試験	○	◎		
面接試験	○	○	◎	

神道文化学部

【神道文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

國學院大學神道文化学部は、神道を中心とする日本文化への高い関心と、国内外の宗教文化を広く学ぼうとする意欲とを持ち、宗教・文化の継承者として、人々の共存や社会の発展に寄与しようとする人材を受け入れます。

具体的には、次のような意欲・意志を持って、学びの成果を社会に活かそうとしている人材を求めています。

- (1) 神道の歴史・思想を学ぶ意欲を持つ者
- (2) 神道の社会的実践について学ぶ意欲を持つ者
- (3) 日本の伝統文化を深く学ぶ意欲を持つ者
- (4) 世界の宗教文化を広く学ぶ意欲を持つ者
- (5) 神社や神道系宗教団体の後継者を志す者

◎入学者選考の観点

人材受け入れのため、次の観点から受験生を選考します。

- (AP1) 神道を中心とする日本文化や国内外の宗教文化（以下「神道文化・宗教文化」）に関わる授業を履修するために必要となる高等学校卒業相当の知識と文章表現のための技能を身につけているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 他者の考えを的確に理解し、自らの考えを理論的かつ簡潔にまとめ、ことばで正確に表現できる能力を有しているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 神道文化・宗教文化を幅広く学ぼうとする意欲を持っているか。また、神道文化・宗教文化の学びの成果を活かして、社会への貢献を目指す意志を持っているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

※具体的な入試制度と観点との関連は別表の通りです。

◎入学までに身に付けるべき教科・科目

神道文化学部に入学者には、入学後の教育内容との関係上、「国語」「地理歴史」「公民」「外国語（英語）」の学習を求めます。

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		○	◎	神道文化学部での学修に必要な総合的な学力を持つ受験生を選考します。 面接試験・志望理由書等では、主に神道文化・宗教文化を学ぶ態度を問います。 小論文試験では、主に思考力・表現力を問います。
活動レポート		○	◎	
小論文試験	○	◎		
面接試験		○	◎	

2. 募集人員・出願資格等

(1) 募集人員

学 部	学 科	コース・専攻	募集人員
文	日本文		2名
	哲		1名
神道文化	神道文化	フレックスA（夜間主）	5名

※文学部中国文学科・外国語文化学科・史学科、法学部、経済学部の社会人入学試験は、公募制自己推薦（AO型）として実施します。公募制自己推薦（AO型）入学試験要項をご参照ください。

募集人員は変更になる場合があります。

出願状況および試験結果等により、合格者が募集人員を下回る場合があります。

(2) 出願資格

以下の①～⑧のいずれかに該当し、かつ令和4年4月1日現在で満22歳以上の者。就業経験は問わない。ただし、令和4年3月卒業見込み者および高等学校卒業程度認定試験合格見込み者の場合は社会人経験を有すること。

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者、及び令和4年3月卒業見込みの者。
- ② 高等専門学校の3年次を修了した者、及び令和4年3月修了見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、及び令和4年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の課程を修了した者、及び令和4年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、またその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、及び令和4年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑥ 文部科学大臣が指定した者。
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定試験に合格した者を含む）、及び令和4年3月31日までに合格見込みの者。
- ⑧ 本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※出願に際し、資格等で不明な点がある場合は、必ず入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

(3) フレックス
開講制

フレックス（昼夜）開講制は、コースによりクラス指定される科目を除き、授業時間帯やキャンパスを自由によぶことができます。

神道文化学部は「フレックスA（夜間主）コース」のみの募集となります。

【授業時間帯】

本学の授業は、以下の時間帯で開講されます。

	渋谷 キャンパス	月	火	水	木	金	土	横浜たまプラーザ キャンパス
1時限	8:50～10:20							9:00～10:30
2時限	10:30～12:00							10:45～12:15
3時限	12:50～14:20							13:05～14:35
4時限	14:30～16:00							14:50～16:20
5時限	16:10～17:40							16:35～18:05
6時限	17:50～19:20							18:15～19:45
7時限	19:30～21:00							

昼開講時間帯
 共通開講時間帯
 夜開講時間帯

※1 渋谷キャンパスは、昼開講時間帯：月～金の1～4限、共通開講時間帯：月～金の5限・土の1・2限
夜開講時間帯：月～金の6・7限、土の3～7限となります。

※2 授業時間帯については、次年度以降変更することがあります。

【奨学金制度について】

「フレックスA（夜間主）コース」の入学者が、夜開講時間帯及び共通開講時間帯だけで受講する場合に対象となる奨学金制度があります。詳細はP.13を参照してください。

(4) 入学検定料

35,000円	2回目 ※神道文化学部のみ (第Ⅰ期にも出願した場合の第Ⅱ期) 20,000円
---------	---

同一年度の社会人特別選考の第Ⅰ期、第Ⅱ期ともに神道文化学部に出願する場合に限り、第Ⅱ期の入学検定料を上記のとおり減免します。減免を申請する場合は、下記のいずれかを第Ⅱ期の出願書類に同封してください。

- ① 第Ⅰ期出願時の「払込金兼手数料受領書（本人保存）」
- ② 第Ⅰ期の「受験番号通知書（コピー）」

なお、次の場合は減免の対象となりませんので、ご注意ください。

- ・上記①「払込金兼手数料受領書（本人保存）」に取扱店の収納印がない、もしくは不明瞭な場合。
- ・第Ⅱ期出願書類の送付後に入学検定料の減免を申請した場合。

※一度納入された入学検定料については、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。

3. 実施スケジュール ※第Ⅱ期は神道文化学部のみ実施

【第Ⅰ期】 文学部（日本文・哲学科）、神道文化学部神道文化学科（フレックスA（夜間）のみ）

出 願（消印有効）		合格発表日	入学手続期間（消印有効）
令和3年10月11日（月） ～10月15日（金）		11月24日（水）	11月24日（水） ～12月1日（水）
試験日	集合時間	1 時限目（10：00～11：30）	2 時限目（13：00～）
11月14日（日）	9：30	小論文試験・筆記試験	面接試験（1人約20分）

【第Ⅱ期】 神道文化学部神道文化学科（フレックスA（夜間）のみ）

出 願（消印有効）		合格発表日	入学手続期間（消印有効）
令和4年 2月8日（火） ～2月15日（火）		3月11日（金）	3月11日（金） ～3月18日（金）
試験日	集合時間	1 時限目（10：00～11：30）	2 時限目（13：00～）
3月2日（水）	9：30	小論文試験	面接試験（1人約20分）

4. 受験から入学手続まで

(1) 受験に関する諸注意

①開門時刻	<p>9:00～</p> <p>※ <u>試験教室には試験開始30分前までに入室</u>してください。入場後は、試験が終了するまで場外に出ることはできません。</p>
②受験番号 通知書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願された方全員に受験番号通知書を発送します。試験日の3日前になっても受験番号通知書が届かない場合や、記載内容に誤りのある場合、また紛失や破損をしてしまった場合には、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。 ・電算処理の関係上、受験番号通知書・合格通知等に表記できるのは、JIS第1水準およびJIS第2水準までの漢字です。表記できない漢字については、字体の異なる同字で置き換えられるか、カタカナで表記されますのでご了承ください。 ・試験当日は<u>必ず受験番号通知書を持参</u>し、案内掲示板にて自分の受験番号を確認のうえ、該当の試験教室に入室してください。 ・試験中は受験番号通知書を机上に掲示してください。
③遅刻	<p><u>遅刻は一切認めません</u>。指定された集合時間に間に合わなかった場合、試験を受けることはできません。なお、事故等により交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。</p>
④試験時間 中の注意 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>時計は必ず持参</u>してください。ただし、辞書・電卓・計算・通信端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは使用できません。また、試験時間中は携帯電話など電子機器類の電源を必ず切ってください。 ・筆記具はHBのもの、消しゴムはプラスチック製を使用してください。下敷き・定規・コンパスなどは使用できません。 ・受験者は試験時間中に以下の物を使用することができます。（ただし、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督者が確認する、または使用を認めないことがあります） 「座布団」・「ひざ掛け」・「コート」・「マスク」・「ティッシュペーパー」・「ハンカチ」・「ハンドタオル」・「目薬・点鼻薬」 ・英語や地図、和歌や格言等が印字されている服の着用や所持品の使用はできません。 ・試験教室からの入退室は、試験監督の指示に従ってください。不正行為をした者・試験監督の注意や指示に従わない者には退室を命じ、以降の受験は一切認めません。
⑤感染症に 関する 注意事項	<p>試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。</p> <p>また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分注意してください。</p> <p>ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認められた際には、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。</p>

⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> ・面接試験は午後からとなりますので、昼食を持参してください。 ・上履きを持参する必要はありません。 ・試験教室の下見はできません。 ・試験会場へは公共の交通機関をご利用ください。自動車や自転車、バイク等での試験場構内への乗り入れはできません。 ・大規模災害等、不測の事態により、所定の日程通りに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期・再試験等の対応措置を取らざるを得ないことがあります。これらの対応措置を講ずる場合は、本学ホームページ（www.kokugakuin.ac.jp/admission）に掲載しますので、確認してください。
------	---

(2) 評価方法について

出願書類ならびに各学科が指定する選考方法を用いて、アドミッション・ポリシーに基づき、学力を構成する特に重要な以下の三つの要素を多面的・総合的に評価する。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能
- ② 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力
- ③ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

(3) 合格発表について

受験ポータルサイト「UCARO」にて合否通知を行います。確認する際に、**受験番号と生年月日**が必要となります。発表日の12：00以降に下記のアドレスにアクセスしてください。

電話による合否の問い合わせには一切応じません。

合格発表専用 UCARO ホームページアドレス

<https://www.ucaro.net/gouhi/304012A>



合格者に対しては、UCARO上の合格発表画面にて、入学手続に関する案内を行います。入学手続は、Web入学手続システムを通して行うものとし、大学から入学手続書類・合格通知書等の送付はいたしません。UCARO上の画面の指示に従って手続を行ってください。

なお、「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学手続締め切り日を過ぎての入学手続は一切認めません。

5. 入学試験要項

(1) 選考方法

《日本文学科》

- ① 志望理由書（出願時に提出、700～800字）
- ② 筆記試験（古文を読んだの論述、全体で1,000字程度、80分）
以下の3種の古語辞典のうち、紙の辞書を1冊のみ当日持ち込み可とします（但し、書名に「全訳」とあるものは不可）。電子辞書は不可。
『旺文社 古語辞典』（旺文社）、『古語林』（大修館書店）、『新明解 古語辞典』（三省堂）
- ③ 面接試験（約20分）
本学科での勉学・研究に対する目的意識・修学意欲などについての面接を行う（国語の基礎知識を含む）。

《哲学科》

下記①～③は出願時に提出。

- ① 志望理由書（700～800字）
- ② レポート（800字程度）
書籍1冊、ないし美術作品、映画等1点を取り上げ、それについて紹介しつつ、どのような点に深く関心を持ったのか、またその理由を示すこと。なお、書籍の場合は小論文試験の課題図書とは異なるものを選び、書籍名・取り上げた作品名等は表題の欄に記入すること。
- ③ 自己推薦書（900～1,000字）
「大学での勉学・研究に対する目的意識と意欲」または「継続的な努力をしている活動内容とそれを大学での学修にどのように役立てられるか」等を自己推薦文として主張してください。なお、必ず表題を付けてください。
- ④ 小論文試験（1,000字程度、90分）
あらかじめ次の課題図書2冊のうち1冊を選択して読んでいることを前提とした試験を行う。課題図書は試験当日2冊とも持ち込み可とし、解答に使用する図書は問題を見た後で決定してよい（図書に書き込みをすること、頁を折り曲げることは可とするが、別紙を持ち込むこと、付箋を貼ることは認められない）。

【課題図書】

- [1] トゥーゲントハット ほか
『ぼくたちの倫理学教室』（平凡社新書）
- [2] 伊藤亜紗
『ヴァレリー 芸術と身体の哲学』（講談社学術文庫）

- ⑤ 面接試験（約20分）
大学での学問・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

《神道文化学部 神道文化学科》

下記①・②は出願時に提出。

- ① 志望理由書（700～800字）
- ② 活動レポート（800字以内）
過去3年間程度で、主体的に取り組んだ活動の一つを選び記入してください。
- ③ 小論文試験（1,000字程度、90分）
- ④ 面接試験（約20分）

6. 出願書類・出願方法

① 入学志願票 【本学所定用紙】	「入学志願票記入例」(P.10～11)を参照してください。 ★入学志願票を全て記入のうえ、入学検定料を振込み、提出してください。	
② 各種証明書	出願前3ヶ月以内に発行された書類を提出してください。 氏名が旧姓の場合は、同一人物であることを証明する書類(戸籍抄本等)を同封してください。 大学の卒業証明書の提出は不要です。入学時にも入学資格を証明する書類として、各種証明書の提出を求めますので、ご留意ください。	
	高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校を卒業した者、及び令和4年3月卒業見込みの者	出身(在籍)学校長が発行した「調査書」(学校所定用紙、開封無効) 既卒生の場合、卒業後に発行されたもので可(卒業見込で発行されたものは不可) 卒業後5年以上経過などの理由により、調査書が発行できない場合は「卒業証明書」を提出すること。
	高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定の合格者・合格見込者	「合格証明書」 (合格見込者は「合格見込成績証明書」)
	外国における12年の課程を修了した者または修了見込者	「修了(見込)証明書」と「成績証明書」 ※日本と外国両方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の「調査書」も合わせて提出してください。
③ 志望理由書 【様式1】	日本文・哲・神道文化学科	700～800字で記入してください。
④ レポート 【様式2】	哲学科	詳細は各学科の選考方法をご参照ください。
⑤ 自己推薦書 【様式3】	哲学科	
⑥ 活動レポート 【様式4】	神道文化学科	
⑦ 履歴書 【様式5】	履歴書は高等学校卒業以降、現在までの経歴を漏れなく詳細に記入してください。	

- (1) 出願に必要な書類を全てそろえ、本学所定の出願封筒ラベルを使用し、速達・簡易書留で入学課宛に送付してください。
- (2) 出願書類は順番にならべて提出してください。記入の際は、ボールペンを使用してください(鉛筆書き不可)。
- (3) 全ての書類は出願者本人が作成してください。
- (4) 一度提出した書類および入学検定料は返還しません。

7. 入学志願票記入例 ※写真票もこれにならって記入してください。

以下は文学部日本文学科に志願する場合の記入例ですが、他の学科もこれにならい、ボールペンを使用して各票の太枠内をもれなく記入してください（網かけされている欄は未記入のままで結構です）。なお、提出後の変更は一切認められませんので、ご注意ください。

- ★ 入学志願票を全て記入の上、入学検定料を振込み、出願してください。
- ★ 写真票には写真（縦4cm×横3cm）を必ず貼付してください。
- ★ 記入を間違えた場合は修正液（ホワイト）を使用しても構いません。但し、入学検定料（振込金額）を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行等の窓口で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。

志願票

國學院大學（総合型選抜・学校推薦型選抜）入学志願票

入試制度												
出願する試験制度の番号に○を付け、必要事項を記入してください。												
1 公募(AO) 経済学部以外	2 公募制(AO) 経済学部 K-ENT方式		3 スポーツ	4 指定校	5 全商協会	6 社会人	7 神道・宗教	8 神職養成	9 神道学 専攻科	10 学士	11 一般編入	
12 院友子弟		13 セカンド キャリア	14 別科I類	15 別科II類	出願方法 1: 神道 2: 宗教 (A) (B)		16 外国人 留学生	17 系列・協定校 (推薦)	18 系列校 (選抜推薦)	19 系列編入		
志望コード コード		活動コード イ ロ ハ		課程学部 種類タイプ		国籍コード		日本留学試験受験番号				
↓ 記入例に従って該当欄に記入してください(選択項目には該当する番号に○を付けてください)。												
志願データ												
受験番号 入試コード						※						
Q I I A						系列三高校(選抜推薦)志願者のみの貼付 大学入学共通テスト成績請求票貼付欄 私・短 私立大学・ 公私立短期大学用 大学入学共通テスト受験票とともに交付された 成績請求票を貼付してください。						
学部	文					【公募(AO)社会人出願者のみ】						
学科	日本文					・第1次選考免除 (中国文学科・法律学科) 1 希望する						
専攻 (専攻科・別科)						・活動レポート免除 (史学科) 2 希望しない						
氏名	フリガナ	ワカキ ヨシウ				性別	1 男		生年	年(西暦)	月	日
	漢字	若木 翔				性別	2 女		生年月日	1997	11	04
志願者住所	〒	225-0003										
	神奈川県	横浜市青葉区新石川3-22-1 若木ヒルス 101										
履歴	出身高等学校等	高等学校等コード	課程	学科	卒業年(西暦)	月	入学検定料(振込金額)					
	國學院	13550A	I	I	2016	03	¥ 35000					

- ボールペンを使用して記入してください。間違えた場合は修正液を使用しても構いません。但し、入学検定料（振込金額）を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。
- 濁点なども1文字として楷書で記入してください。
- 振込金額は、入試制度によって異なりますので、必ず要項をご確認ください。
- ATMからの振り込みはできません。必ず銀行等金融機関の窓口で手続を行ってください。
- 取扱店の取納印が無いものは無効です。

個人情報取り扱い確認欄	
個人情報の取り扱いに関する「振込金兼手数料受取書(本人保存)」の記載を読み、同意しない場合のみ、✓を記入してください。	同意しない <input type="checkbox"/>



2022

(1) 記入上の注意

- ① 出願する入試制度に○をつけてください。
- ② 各種コード一覧を参照し、入試コード・学部・学科を記入してください。専攻欄・コース欄は記入不要です(他の入試制度使用欄のため)。
- ③ 氏名は常用漢字を使用し、楷書で記入してください。
- ④ 濁点・半濁点も1文字として記入してください。
- ⑤ 生年月日・卒業年月は必ず西暦で記入し、月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を入れ、2桁で記入してください。
- ⑥ 住所は受験番号通知書等の送付先となるので、アパート・マンション名まで正確に記入してください(丁目・番地・号は「-」で記入してください)。
- ⑦ 電話番号(日中連絡のとれるもの)は、市外局番・局番・加入番号それぞれの間を「-」で区切って記入してください。
- ⑧ メールアドレスは正確に記入してください。また、文字の判別がしやすいように、適宜フリガナ等で補足してください(例:アルファベットのO<オー>と数字の0<ゼロ>など)。

(2) 各種コード一覧

学部	学科	コース	入試コード	
			I 期	II 期
文	日本文		Q 1 1 A	
	哲		Q 1 1 D	
神道文化	神道文化	フレックスA(夜間主)	Q 2 4 A	P 2 4 A

高等学校等コード

高等学校等の進路指導部へお問い合わせください。
※大学入試センターのコードと同様です。

課程コード

課 程	全日制	定時制	通信制	その他
コード	1	2	3	9

学科コード

学科	普通	商業	工業	農業	英語	総合	その他
コード	1	2	3	4	5	6	9

8. 入学検定料

入学検定料の振込について

入学検定料

35,000円

※出願開始日よりお振り込みください。

※第Ⅰ期、第Ⅱ期ともに神道文化学部に出願する場合に限り、入学検定料の減免措置があります。詳細はP.4をご参照ください。

- ① 入学志願票に必要事項を全て記入した後、出願期限に間に合うように最寄りの銀行または信用金庫等の窓口（銀行等のATM・ゆうちょ銀行は利用できません）から本学が指定する銀行口座へ振込んでください。
 - 振込依頼書は入学志願票と一連になっていますので、必要事項を記入のうえ、切り離さずに銀行等取扱店へお持ちください。
 - 本学が指定する銀行（下記⑥参照）の各本支店から振込む際の手数料は不要ですが、その他の金融機関から振込む場合には本人負担となります。
- ② 振込終了後、「振込依頼書」は取扱店によって切り取られます。それ以外の収納印欄全てに取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。
- ③ 「本人保存」は領収書となりますので、各自切り取って保管してください。
- ④ 出願の際には「入学志願票・写真票」を切り離さず、その他の出願書類とともに入学課宛に送付してください（詳細はP.9を参照してください）。
- ⑤ 一度納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。
- ⑥ 本学が指定する銀行口座は下記のとおりです。

みずほ銀行	渋谷中央支店	普通	No.1391131	三菱UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	No.0128169
三井住友銀行	渋谷支店	普通	No.8195674	りそな銀行	渋谷支店	普通	No.0093868

※ ご不明な点は、入学検定料をお振込みの前に、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

9. 学費等納付金

(1) 学費等納付金について

令和3年度参考。なお金額については変更となる可能性があります。

(単位：円)

費目		納期	文・神道文化学部		
			入学時	入学後（後期分）	初年度合計
学費	入学金		240,000		240,000
	授業料		380,000	380,000	760,000
	施設設備費		105,000	105,000	210,000
	維持運営費		10,000		10,000
	小計		735,000	485,000	1,220,000
諸費	若木育成会費		29,000		29,000
	若木学友会入会金		1,000		1,000
	若木学友会費		5,300		5,300
	院友会（同窓会）入会金		10,000		10,000
	國學院雑誌代		2,000		2,000
	小計	文 学 部 神 道 文 化 学 部	47,300		47,300
合計	文 学 部 神 道 文 化 学 部	782,300	485,000	1,267,300	

備考 1. 教員免許等各種資格の取得を希望する場合は、上記以外に別途費用が必要となります。
 2. 上表のうち、國學院雑誌代については消費税分を含んだ金額となっております。
 3. 後期分以降の学費の納付については、口座振替となります。詳細は入学後にご案内します。

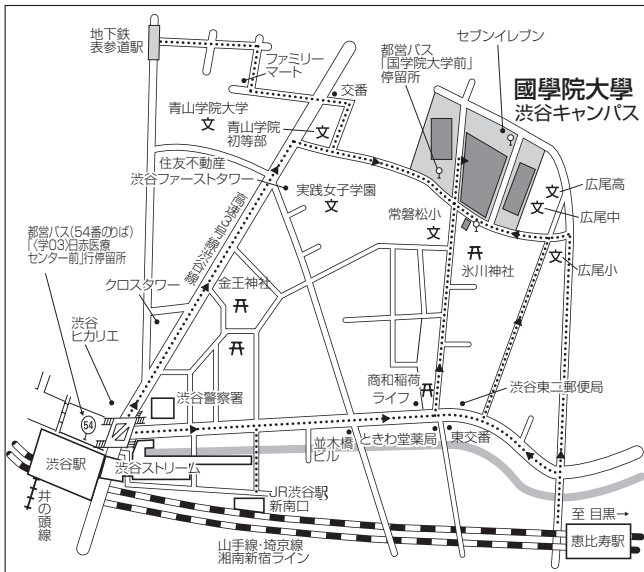
(2) フレックスコースの学費等納付金について（神道文化学部）

フレックス開講制のいずれのコースに入学しても学費等納付金は同額です。ただし、フレックスA（夜間主）コースの在籍生を対象に、月～金曜日の5～7時限及び土曜日1～7時限の科目のみで授業を履修し、本学の定める出願資格を満たした学生に、40万円を給付する「フレックス特別給付奨学金」制度を設けています。**有資格者は入学後所定の期間に出願手続きをしてください。**詳細は学生生活課（03-5466-0145）にお問い合わせください。

【入学手続き完了後の辞退について】

入学手続きを完了した後にやむを得ない事由により、入学を辞退する場合、令和4年3月31日(木)17時までに所定の申請手続きを終えた方には、入学金を除く授業料等納付金を返還いたします。なお、詳細は『入学手続き要項』に記載します。

渋谷キャンパス 〈文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・専攻科・別科のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒150-8440
東京都渋谷区東四丁目10-28

＜交通機関＞渋谷駅東口方面出口より徒歩約13分、
または、
渋谷駅東口バスターミナル(54番のりば)
より
都営バス〈学03系統〉「日赤医療センター前」行き(運賃 現金180円・IC175円)
「国学院大学前」下車

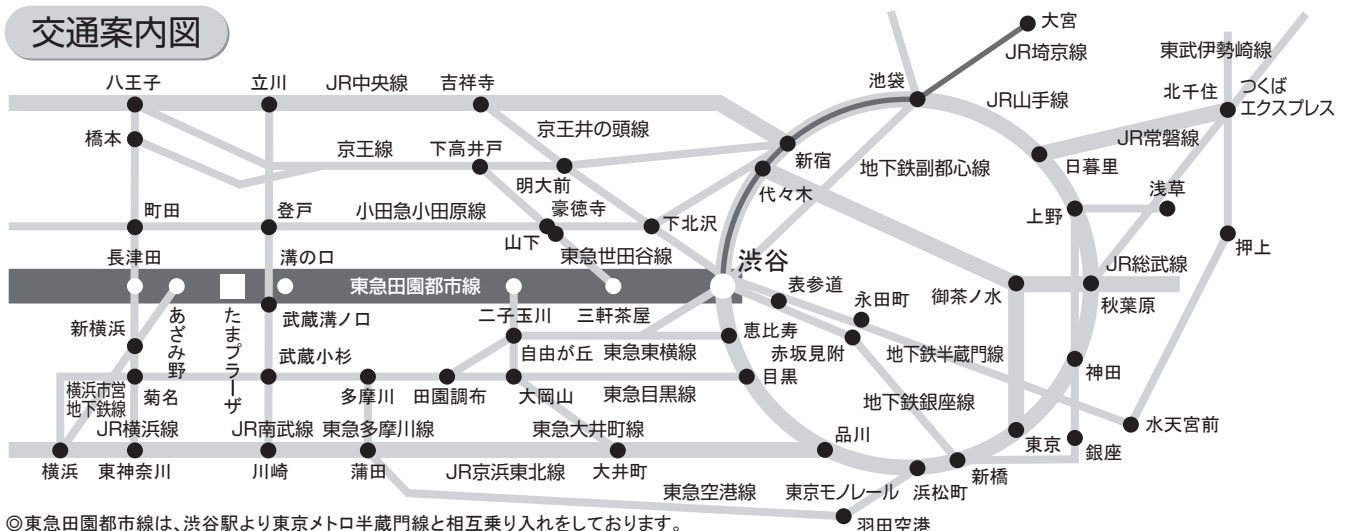
横浜たまプラーザキャンパス 〈人間開発学部のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒225-0003
神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

＜交通機関＞渋谷駅より東急田園都市線(長津田・中央林間方面行き)にて約25分
(東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ)
たまプラーザ駅下車南口より徒歩約5分

交通案内図



◎東急田園都市線は、渋谷駅より東京メトロ半蔵門線と相互乗り入れをしております。

※本ページに記載されている情報は発行時のものです。変更される場合がありますので、ご自身で必ずご確認ください。

